

【日刊建設青森に三沢発電所に関する記事が一面で掲載されました】

2月8日付掲載の日刊建設青森において、当社グループで計画中の青森県三沢発電所に関する記事が一面にて掲載されました。

(平成28年2月8日 掲載)

(1)

昭和37年10月30日 第三種郵便物認可

日刊建設青森

発行所/日刊建設青森社 本社/〒030-0861 青森市長島3丁目20-16 電話(017)722-1155(代) 編集部/FAX(017)722-1155
総務部/FAX(017)722-1188 八戸支店/電話(0178)29-3924 通信部/弘前・八戸・十和田・北五・むつ
http://www.kentsu-news.com E-mail:info@kentsu-news.com 東北専門新聞誌発刊誌

2016年(平成28年)
2月8日 (月曜日)
第11076号

土曜・祝日休刊 購読料本誌6,000円/月(税別)
©連通新聞社2016

多摩川HD 三沢に太陽光発電所計画

10メガワット 4月着工、今秋から売電

【三沢】多摩川ホールディングス(東京都港区浜松町1-6-15 株式会社)は、三沢市六川目地区に合計約10万㎡の太陽光発電所(メガソーラー)を建設する計画だ。競争入札方式で施工者を決め、16年4月に着工したいと考えて、売電開始の目標時期は16年10月に約5メガワット、17年5月に約5メガワットを予定している。

BenQ社製パネル3.6万枚

太陽光発電所の工事概要は、BenQ Solaria社(台湾・台北市)製の太陽光パネル約3万6000枚を設備する。売電価格は20年間固定で36円/キロワット時(約1.25円/キロワット時)で、売電収入は約3億9000万円/年、初年度発電電量は約1085万281キロワット時と見込まれている。敷地面積は15万3000平方メートルで、4キロワット時を予定しており、このほか、東北電力から電力調達に関する承諾を得た。発電事業者は、多摩川HDの100%子会社である合同会社GPエナジーHDの4社とする。

施工地は三沢市六川目5丁目ほか地区の旧養殖場跡地で、現在は更地となっており、敷地面積は15万3000平方メートルで、4キロワット時を予定している。敷地面積は15万3000平方メートルで、4キロワット時を予定している。

太平洋に面して雪が少なく、年間を通して必要日照量を確保できると判断した。

運営についてはエトリオン・ジャパンとの共同で行う予定で、事業開始に向け今後、具体的な協議に入る。

エトリオン・ジャパンの親会社であるEtrion Corporation(スイス・ジュネーブ)は、エネルギー事業や鉱業を行っている大手資源エネルギー開発企業グループであるLundin Groupを構成する主要企業の一つ。同グループは傘下の上場企業11社を世界約40国以上で運営しており、Etrion社はグループ内で重要な再生可能エネルギー企業と位置づけられている。

※この記事は発行元に掲載の許可を承諾頂いた上で掲載いたしております。